広資料第２２９号
令和４年１０月２８日
企画財政部行政経営課
市民情報提供資料

指定管理業務総括評価票一覧《令和３年度》について

このことについて、本市では、指定管理者制度を導入した施設（以下「制度導入施設」という。）における管理の適正を期するため、指定管理者制度導入施設におけるモニタリングに関する指針（平成２０年３月２１日市長決裁）に基づき、全ての制度導入施設において所定のモニタリングを実施しているところです。

この度、各制度導入施設における令和３年度の管理状況を評価した指定管理業務総括評価票の内容について、別紙のとおり一覧に取りまとめましたのでお知らせします。

指定管理業務総括評価票一覧《令和3年度》

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																							3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
			事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	外部委託事業者に対して協定書等を遵守させている。	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	個人情報保護に関する規程が整備されている。	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	情報公開に関する規程が整備されている。	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	業務日誌等を適切に整備、保管している。	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	業務の実施体制に関する評価	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	利用者数、稼働率等は、適正な水準にある。	前回の評価を受けて、適切な改善が図られたか。	業務の内容・水準に関する評価	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	経費が縮減され、又はその縮減に向けた努力を行っている。	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	経費の収支等に関する評価		「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」の総合評価	A(優　良)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良　好)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準におおむね沿った管理内容である。 C(課題含・多)＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。 D(要改善)＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。
1	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 地域包括支援センター 【指定管理者】 武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定書に基づき、業務を実施した。今後も法令・条例を遵守し、適正に事業運営を行い、更なる地域福祉の発展に努めていく。 また、行政や医療・介護機関、市民等と連携し、地域包括ケアシステムの構築を進めていく。
			新型コロナウイルス感染症の感染予防に留意した上で、法令等を遵守し事業を実施した。 また、協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。																			新型コロナウイルス感染症の感染予防に留意しながら介護予防教室や権利擁護の講座、介護者交流会、オレンジカフェ等を実施した。 また、包括の広報として、SNSや南部包括支援センターたよりを隔月で発行し、関係機関や市民に配布した。																							適切に執行した。						
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 (高齢福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業の内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上の問題はない。 また、収支等についても特に指摘するところはなく、適正に執行していると考える。
			特に問題はなく、良好であった。																			特に問題はなく、良好であった。																							特に問題はなく、良好であった。						
2	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 身体障害者福祉センター 【指定管理者】 武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	新型コロナウイルス感染症の感染者、濃厚接触者の発生時は、迅速に障害福祉課と情報共有し、拡大防止に努めながら運営を行った。
			一日3人の医療的ケア者を受け入れているため、看護師を手厚く配置し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に十分配慮しながら運営を行った。																			利用者支援に関する課題については、その都度協議し、きめ細かな対応を行った。																							適正な事務を執行した。						
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	感染予防策を徹底し、医療的ケアや重度化する身体障害のある利用者に応えられる体制を継続し、より質の高いデイサービスの提供ができている点を評価する。 今年度は、外部からの入浴サービスやショートステイサービスなども積極的に受け入れ、要望に応えている。 また、在宅障害者を対象とする創作的活動講座では、多くの受講者を集めて実施できており、コロナ禍だからこそ、地域の障害者が安心して集い、交流を図る場としての役割を果たせている。
			コロナ禍にあっても不足のない職員体制を確保し、業務継続ができており、おおむね良好である。																			感染拡大による運営変更などをその都度利用者に説明する際に様々な意見、要望等を吸い上げ、よりきめ細かなデイサービス事業の継続につながった。																							おおむね良好である。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																							3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
3	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 障害者地域自立生活支援センター 【指定管理者】 武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	ー	ー	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	法令、協定書に従い、事業運営を行った。 新型コロナウイルス感染症の影響で、参加者の安全を考慮し、実施を見合わせた事業もあった。 経費削減に向けた努力を行った。
			法令・条例に基づき事業を実施した。 個人情報保護に関する規程に基づき、十分に配慮した。																			事業計画書に即し、適切に運営した。 利用者へのサービス向上に努めた。																				経費削減に努めた。							
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 （障害福祉課）	B	B	B	ー	ー	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	職員体制を確保し、利用者も含め新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、業務が継続できており、緊急の案件に対しても迅速に対応できていた点を評価した。 業務日誌がオンライン化されており、事務の効率化が図られていた点についても評価した。 利用者アンケートについては、利用者の特性上対面で行う必要があるとは思われるが、電話での聴き取りを行うなど、可能な限りの対応を検討できればなお良いと思われる。
			コロナ禍においても職員体制を確保し、業務が継続できており、おおむね良好だった。 業務日誌はオンライン化されており、事務の効率化が図られていた。																			新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、業務継続計画に基づき事業を継続していた。																				おおむね良好である。							
4	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 訪問看護ステーション 【指定管理者】 一般社団法人武蔵村山市医師会	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	職員の退職があったが、人員の確保が難しく、収益の減少、残った職員の負担の増加につながった。新型コロナウイルス感染症に係る業務継続計画（BCP）の作成に取り組み、日々の訪問の中でも感染対策を講じ、所内での感染者の発生はなかった。 外部研修への参加機会がは少ないが、所内での研修は継続できていた。 居宅介護支援事業所については、安定した利用者数の確保は出来ているが、医療ニードが高い利用者や虐待ケースもあり、業務が多忙となっている。 次年度の課題として、職員の確保と、それに伴う新規利用者の受入れがあり、ほかに、感染拡大防止に向けてのBCPと災害時のBCPの作成に取り組みたい。また、BCPの作成に当たり、近隣ステーションとの連携もより密に行う必要がある。 限られた職員で法令に基づき、効率よく業務運営が継続できるよう、定期的な話し合いや見直し、医師会との情報共有を図っていきたいと考える。
			退職者があったが常勤換算5．4人を確保した。 個人情報は施錠できる場所に保管し、ICTを活用した情報共有もパスワード管理により行っている。 外部研修の参加のほか、所内で定期的に研修を実施した。 業務日誌は事務員、管理者により日々管理を行っている。 各種報告書は期日までに市に提出している。 感染症、災害時等のマニュアルは見直し作成中である。																			協定書、仕様書等に従い、施設維持管理を実施しており、節電についても職員に周知している。 苦情等の窓口担当を定めており、ヒヤリハットについても、所内で検討会を実施した。 利用者アンケートは毎年実施しており、今年度は、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について実施した。																				専用の口座、出納帳が整備されており、会計士及び定期的な運営委員会で理事が確認している。							
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 （高齢福祉課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上問題はない。 収支等についても特に指摘するところはなく、適正に行っていると考える。 年度を通して新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生することもなく、適切な感染症対策がとられていた。
			特に問題はなく、良好である。																			適切に管理等ができており、特に問題はない。																				適正である。							

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
5	【施設名】 武蔵村山市民総合センター ボランティア・市民活動センター 【指定管理者】 特定非営利活動法人むさしむらやま子ども劇場	自己評価 （指定管理者）	A	A	A	B	B	B	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	B	A	A	積極的にオンライン会議ツール（Zoom）やグループウェア（Zoho）などを用いるとともに、テレワークの実施により効率的な事業運営を行った。 また、個人情報の保護についてはハード的な対策だけにとどまらず、全員が研修を受け意識の向上を図った。 研修は多岐にわたり、年間で75回実施し、延べ141人が参加した。	コロナ禍で行動制限が繰り返される中、まずオンラインを活用するための支援を継続的に行った（年間20回以上）。その結果、毎月のオンライン講座に述べ200人以上、4回のオンラインカフェに77人の参加があり、コロナの時期でありながら途絶えることなくステップアップと交流を行った。 また、時期を見ながら対面での講座やワークショップも16回開催するとともに、登録団体の活動紹介ワークショプも毎月行った。 接遇についてはスタッフ2名が通年手話講座に参加し、ろう者とのコミュニケーションが可能となった。 広報については、広報紙の定期発行を維持し、YouTubeなどのSNSも積極的に活用した。 さらに、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、施設の利用率を前年度比約15%上昇させた。	収支的には若干の赤字を招いた。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少してしまったことが最大の要因であるが、併せてスタッフがオンラインに慣れ、外部の力を借りなくてもオンラインによる運営ができるようになる必要があったことから、研修などに積極的に参加することで、人件費が増加したことも一因と考えている。 一方、事務費や管理費は縮減した。一例を挙げると、過去の外部研修などの成果から、広報紙の作成を完全に内製化することができ、スケジュールを保った入稿を可能とした結果、印刷費を年間30万円近く圧縮した。	A	B	A	A	B	A	コロナ禍となって2年目であり、計画していた元気フェスタ、夏体験ボランティア、大人数が集まっての対面でのフォーラムの全てが開催できなくなってしまった。いつになるかわからない収束を漫然と待つのではなく、今、中間支援組織として何ができるかを考え続けた1年だった。その中で、オンラインを活用し、講座とワークショップを合わせて63回開催し、延べ628名の参加を集めたことは、コロナ禍における施設の役割を最大限果たしていると自負すると同時に、相談や問合せ件数は過去最高を記録したことから、ボランティア・市民活動を「リードする運営」、「寄り添う運営」ともに達成できたと捉えている。 課題として、来年度へ向け、新たに市民活動に加わる市民を増やしていきたいと考えている。
	【所管部課】 協働推進部協働推進課	所管評価 （協働推進課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	昨年度に引き続き、コロナ禍を踏まえた業務体制を整え、臨機応変に対応している。積極的に研修に参加し、実務にフィードバックする姿勢が評価できる。	各項目おおむね適切な管理運営を行っていた。目標を持ち、年間計画を立案するだけでなく、職員のスキルアップにより、多様化する団体の活動意欲の向上につながる取組を実施したことが評価できる。	コロナ禍で得た経験と工夫をもって対応している。人件費の増加については、元気フェスタの収支が発生しないと判断した段階での再考が必要であったかもしれない。	B	B	B	B	B	B	各項目おおむね適切な管理運営を行っていた。コロナ禍を踏まえた目標設定を行った上で年間計画を立案し、目標達成に向けて取り組めたことは、大いに評価できる。 一方、収支決算が赤字となったことについては、今後、随時見直しを行いつつ、今後の課題として留意しながら、ボランティア・市民活動団体の活動意欲が向上するよう、また、互いに交流を促進できるよう努められたい。

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫	総合評価	評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
6	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘高齢者サービスセンター 高齢者在宅サービスセンター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山正徳会	自己評価 （指定管理者）	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	B	A	A	A	A	B	A	—	A	A	A	B	A	A	A	今年度も感染対策を徹底しての1年であった。施設、利用者等の関係者の協力があり大きな感染もなく1年を終えることができた。設備や備品に関しては、経年による劣化もあり修繕等が必要な状況が続いているが、市とも協議しながらサービスに影響のないように対応している。今後も何かあった際にはお願いしたい。 稼働状況は、コロナ禍にも関わらず多くの利用があり、時期によっては利用まで待ってもらう状況である。
			現状において人員は確保できているものの、不足した際に新たな人員を確保するまでの時間がかなりかかるようになってきている。																			施設、利用者共に新型コロナウイルス感染症に気を付けながらサービス提供（利用）が行えており、大きな事故なく運営できている。																			財務的には安定した運営が行えている。						
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 （高齢福祉課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上問題はない。 収支等についても特に指摘するところはなく、適正に行っていると考える。
			特に問題はなく、良好である。																			適切に管理等ができており、特に問題はない。																			適正である。						
7	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘高齢者サービスセンター 地域包括支援センター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山正徳会	自己評価 （指定管理者）	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	A	B	B	B	B	B	法令や協定書に基づき業務を遂行したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、計画どおりの事業が実施できないこともあった。 地域性から、障害や経済的な問題などが重複した課題を抱えるケース、虐待ケース、8050問題などすぐに解決できないケースが多く、他機関と連携しながら対応した。
			職員の定着が課題であるが、必要な資格者を不足なく配置できた。																			市民の生活の質を向上できるよう、法令や協定書に基づいた運営、相談対応を行った。																			適切に執行した。						
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 （高齢福祉課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業の内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上問題はない。また、収支等についても特に指摘するところはなく、適正に執行していると考える。
			特に問題はなく、良好であった。																			特に問題はなく、良好であった。																			特に問題はなく、良好である。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫	総合評価	評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
8	【施設名】 武蔵村山市立のぞみ福祉園 【指定管理者】 武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定書及び仕様書を遵守し、利用者や市民に対する福祉サービスの向上を意識しながら業務に当たった。 令和3年4月及び5月の緊急事態宣言中は、希望者へ「在宅でのサービス提供」を行った。 新型コロナウイルス感染症の予防対策として、利用者の登園前検温や職員の出勤前検温、マスク着用、手指消毒の徹底を行うとともに、給食については、3密を回避するため2交代制で対応している。 事務所前に新型コロナウイルス感染症の感染防止対策としてパーティションを設置し、併せて事務所入り口にドアを設置した。 感染防止対策推進事業の補助金を活用し、利用者及び職員に対し、PCR検査を実施した。 送迎車2台（ハイエース及びノア）の入替えを行い、1台（ノア）は環境に優しいハイブリッド車にした。 令和4年3月16日から24日までの9日間で利用者5人と職員4人が新型コロナウイルス感染症に感染した。その都度、開園や検査等について市とも協議をして運営した。 コロナ禍のため、感染防止対策を十分に図り、体育館まつりや福祉のつどいに出店した。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、中止とした宿泊実習の代替行事として、令和3年10月8日及び12日に出張ブドウ狩りと模擬工場見学を本園において実施した。 令和3年10月12日（契約）から令和4年1月24日（フィードバック）までの間、福祉サービス第三者評価を受審した。 自主生産品の販路拡大のため、令和3年11月に武蔵村山市市内事業者応援券「つながり応援カード」事業に参加した。 地域交流を目的とし令和4年3月11日に開催予定であった「のぞみまつり」については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために中止とし、その代替行事として、利用者を対象とした「ちょこっとまつり」を開催した。
			適切な運営体制を整え、事業を実施した。																			事業計画に基づき、福祉サービスの向上に努めた。																				法人内で毎月、会計検査を受け、適切に処理をしている。						
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 （障害福祉課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定書及び仕様書を遵守し、適切に管理運営が行われている。新型コロナウイルス感染症の予防対策として、利用者の登園前検温や職員の出勤前検温、マスク着用、手指消毒の徹底を行い、給食は、3密を回避するため2交代制にしたことなどを評価したい。令和4年3月に、利用者を含め9人の新型コロナウイルスの感染者が発生したが、市と協議の上、園の運営を行った。今後も新型コロナウイルス感染症対策を積極的に実施されたい。
			関係法令を遵守し、適正な体制が整えられていた。																			事業計画に基づき、適切に事業を実施していた。																				適正な会計処理が行われていた。						

No.	区分		1 実施体制																			2 内容・水準																				3 収支等					4 総合評価
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫	
9	自己評価（指定管理者）		A	B	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	A	A	B	B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	B	B	B	A	A	A	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B
9	所管評価（協働推進課）		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
10	自己評価（指定管理者）		B	A	B	A	B	A	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	A	B	B	B	B	B
10	所管評価（産業観光課）		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	ー	B	B	B	B	B	B	B

評価区分：
A＝優良
B＝良好
C＝課題含・多
D＝要改善

No.		区分	1 実施体制	2 内容・水準	3 収支等	5 特記事項
9	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター （緑が丘コミュニティセンター・男女共同参画センター・第一老人福祉館） 【指定管理者】 株式会社シーズプレイス・東建社グループ	自己評価 （指定管理者）	法令等を遵守し、事業を実施した。 テレワークができる職員はテレワークを進めた。 今年度もオンライン研修を多く実施し、職員のスキルアップを図った。	集合事業はなるべく少人数で開催し、回数を増やすことで実績を伸ばすことができた。また、中止にした講座を後日動画で参加者に配信し、男女共同参画講演会は集合開催と動画配信の2本立てで行うなどの工夫をした。 昨年度に引き続き、休館日以外には毎日SNSやホームページを更新し、パネル展示、図書展示等、情報発信に特に注力した。ホームページや情報誌などの広報物もデザインを一新し、より多くの方に見ていただく努力をした。	会計においては、法人内で本部経理職員とセンター専任職員が連携し、適切な処理をしている。収支状況も適切に執行された。	昨年度に比べ、利用団体が増えたことで施設使用料の増加は見られたが、当初予算には未だ不足している状況なので、翌年度以降も課題となる結果となった。新型コロナウイルス感染症対策をしながらの施設管理となる（換気をしながらエアコンを入れるなど）ため、水道光熱費の値上がりもあり、今後も節電、節水に気を付けながら環境に配慮した運営を行っていきたい。 人員に関して、夜間職員は警備のみではなく、事業遂行ができるスキルを持つ職員を配置したため、事業運営をよりスムーズに行うことができた。
9	【所管部課】 協働推進部協働推進課	所管評価 （協働推進課）	コロナ禍による開館時間や事業実施方法の変更にも適宜対応し、業務を遂行することができた。	適時な情報発信や男女共同参画を推進する発信について、SNSやホームページを活用した対応ができている。受託業務の理解と意識の高さを評価する。	おおむね適切な予算執行がなされている。	各項目おおむね適正な事業運営を行っていた。コロナ禍の影響で中止や延期になった事業もあったが、事業の目的達成のため、工夫しながら取り組むことができた。 今後も市民が利用しやすい事業運営を推進しつつ、第四次男女共同参画計画に掲げる各事業に積極的に取り組み、男女共同参画の推進に努めていただきたい。
10	【施設名】 武蔵村山市立温泉施設 【指定管理者】 株式会社オーエンス	自己評価 （指定管理者）	新型コロナウイルス感染症対策による休館や時間短縮営業対応の中、繁忙期を含め適切な人員配置により運営できた。 またマルチジョブとして、時間帯により人員を厚く配置したい部署に、別の部署の人員を一時的に配置した。	利用者対応、施設維持管理に関して、高い水準を維持し運営した。 新型コロナウイルス感染症対策で、計画していた自主事業、イベントの開催が困難になり集客につなげることができなかった。	適切な財務会計報告を実施した。	月に1回、市との調整会議を行うことで、前月の運営報告、翌月の予定等を情報共有し運営にいかすことができた。 利用者の安全第一を考えたサービス向上に努めた。 アンケートやフロント対応における苦情や改善の要望などは少なくなっており、利用者の満足度は向上していると思われる。
10	【所管部課】 協働推進部産業観光課	所管評価 （産業観光課）	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、時短営業など不規則な運営を強いられていたが、人員の確保等を適切に行っていた。 また、市への報告等についても迅速に行われていた。	利用者対応及び施設の維持管理については、おおむね適切であった。 一方、自主事業については未実施であり、利用者の状況にも影響を及ぼしていると考える。 10月からはサウナも再開し、サービス水準の適正化が図られた。	収支状況に関しては、コロナ禍の影響を受け、収入が大幅な減少となったが、経費縮減等に努めた運営が図られていた。	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から休館、時短営業等を実施したことにより利用者が減少したため、支出超過の状況となった。 施設の経年劣化や老朽化に苦慮しながらも、円滑な施設運営に務めていた。 令和4年度については、指定期間の最終年度となることから、自主事業を再開させ、サービス提供水準の向上と集客に努めていただきたい。

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
11	【施設名】 武蔵村山市総合体育館及び体育施設（野山北公園プール外7施設） 【指定管理者】 フクシ・オーエンス共同事業体	自己評価 （指定管理者）	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A	A	A	B	A	A	指定管理期間5年間の4年目に当たる今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、体育館を令和3年4月、5月の2か月間閉鎖した。これに伴い、利用者数や収入が目標や予算を下回る結果となった。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染防止を含めた新しい運営方法を取り入れながら市民が気軽に足を運べる安心安全な施設運営を回復していきたい。
			今年度から新体制で運営を進めた。前年度までの経験をいかし、利用者の意見を取り入れながら新たな試みにも挑戦した。																			法令や条例を遵守するだけではなく、サービスの向上や利用者数の増加を常に意識した運営を心掛けている。																				今年度上半期は減収となっていたが、自主事業の内容を見直して下半期には増収となった。 しかし、全体では、感染対策により減収となったため、次年度は感染対策を講じながら利用者を増加できるようにしたい。						
	【所管部課】 教育部スポーツ振興課	所管評価 （スポーツ振興課）	A	A	B	A	A	A	A	A	B	B	B	B	C	A	A	B	B	A	B	A	B	A	A	A	B	A	B	A	A	A	B	A	A	A	A	B	—	A	B	B	B	B	B	B	B	おおむね基本協定書及び事業計画書の内容に沿った施設運営がなされていると評価できる。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策で、施設の休館や事業の縮小等がある状況であるが、引き続き感染対策を講じながら、施設の管理運営及び事業の充実を図り、総合体育館を中心に市のスポーツ振興に寄与していただきたい。
			おおむね協定書、事業計画書等に沿った管理内容である。しかし、月次報告書等の誤表記が多く、修正を要するケースが多々見受けられるため、確認作業を徹底するなど改善を求める。																			おおむね協定書、事業計画書等に沿った内容である。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当初の事業計画どおりに事業を実施できない状況であるが、感染対策を講じながら、適切に運営していただくようお願いする。																			おおむね適当であった。						
12	【施設名】 武蔵村山市民会館 【指定管理者】 株式会社ケイミックスパブリックビジネス	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2回の緊急事態宣言、解除後のリバウンド防止期間、まん延防止等重点措置等で臨時休館や夜間利用の停止、定員の制限等があり、利用者数、稼働率、受託事業の実施、収支等については予算未達であった。 運営については、市のガイドラインに則り、会館内の感染防止対策や利用者への感染予防対策の徹底を図るとともに、受託事業、自主事業についても、計画していた事業数を可能な限り実施した。 また、臨時休館や夜間利用の停止等に関して利用者への案内を丁寧に実施したことにより、滞りなく運営した。
			常勤職員、窓口スタッフ、外部委託（舞台、設備、清掃）は事業計画書に即した体制で、法令、条例、協定書に基づき適切に運営した。																			新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、利用者への案内と館内各施設の除菌を徹底した。 また、施設の利用制限等についてはホームページへの掲載や利用者へのきめ細かな連絡により行った。																			コロナ禍で収入、支出とも予算未達となった。						
	【所管部課】 教育部文化振興課	所管評価 （文化振興課）	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	B	A	B	B	A	A	A	B	B	B	A	A	A	A	B	A	A	A	B	B	—	B	B	B	A	B	B	B	指定管理者として、責任感を持って管理運営をしている。今年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響があり、事業の中止や施設利用制限に伴い、予算と比較し減収となったが、館内の感染防止対策や利用者への感染予防対策の徹底を図り、可能な限りの事業を実施し、適切な施設の運営を行っている。 また、臨時休館や夜間利用の停止等の周知を迅速に行うとともに、丁寧な利用者対応にも努めている。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策については、今後も感染状況に応じた対応が必要であり、各種対策を講じた上での文化活動の支援、適切な管理運営を行うとともに、これまでの経験等をいかした事業展開を望む。
			事業計画書及び市の指定事項について適切に処理されている。また、市との連絡調整を適宜実施するとともに、国や都の動向等を注視しながら徹底した新型コロナウイルス感染症対策に努めている。																			設備、備品等の適切な維持管理及び徹底した新型コロナウイルス感染症対策に努めている。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止のための施設利用制限の市民への周知等、利用者への対応を迅速に行い、利用者が安心できる施設運営に努めている。																			新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、事業の中止や施設利用制限により、予算と比較し減収となったが、維持費の縮小等に努め、適切な運営を行っている。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫	総合評価	評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
13	【施設名】 つみき保育園 【指定管理者】 社会福祉法人やまぶき会	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	指定管理を受けて10年目となり、前年度に引き続き安定した保育運営を行うことができた。今年度も新型コロナウイルス感染症の関係で、保育環境の衛生管理に配慮し、園児が安全に過ごしやすい環境を作った。 また、公私連携保育所への移行に向けて、市と連携して準備対応を万全に行った。
			年間を通して安定的な運営ができた。																			施設、備品等の老朽化が進み、衛生面や安全確保に課題がある。																				良好である。							
	【所管部課】 子ども家庭部子ども青少年課	所管評価 （子ども青少年課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	指定管理を受けて10年目となり、施設の維持管理を適切に行いながら園の特色を出した保育に取り組んでいた。おおむね適切な運営を行っていたと評価する。 特に、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策には積極的に取り組んでおり、園児の安全安心への配慮も適切に行っていた。 また、令和4年度の公私連携保育所への移行に伴う市との協議にも協力的であり、環境改善にも前向きに取り組んでスムーズに事業を進めていた。
			組織として必要な対応がなされており、体制はおおむね良好である。																			新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を中心に、安全かつ衛生的な運営に向けて適切に対応している。																				おおむね良好である。							
14	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 精神障害者地域活動支援センター 【指定管理者】 医療法人社団　円祐会	自己評価 （指定管理者）	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	協定書に基づき事業を実施した。オープンスペースの延べ利用者数、プログラム参加者数ともに前年度より増加し、コロナ禍での工夫が少しずつ結果につながった。 相談事業についても延べ相談件数は前年度と比較して約1，500件の増加となった。 今後も、よりニーズにあった居場所の提供やプログラムの実施、活動を知ってもらえるよう広報活動をしていくことが課題である。
			今年度も必要な資格、経験を有する人員については基準より多く配置し、専門性の高いサービスの提供に努めた。 関係機関との連携も多岐にわたって密に行った。																			新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底し、閉館することなくサービス提供を継続した。 利用者の立場に立ち、ゴールデンウィーク中は臨時開館し相談に対応した。 利用者アンケートにあった空気清浄機を設置し、環境を整備した。																				適切に執行した。							
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 （障害福祉課課）	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分に講じた上で、開所時間を調整し、行事も工夫して事業を休止することなく福祉の向上に寄与していた。 利用者からの苦情や利用者間におけるトラブルもなく、精神障害者及び家族等の相談窓口、日中活動の場等の役割を十分に果たしており、利用者の緊急な対応にも当たりながら安定的な運営を図っていた。
			専門性の高い業務において体制が整えられており、おおむね良好だった。																			協定書等を遵守し、目立った苦情等もなく、利用者アンケートにより空気清浄機を設置し環境を整備するなど適正な水準を維持していた。																				適切に執行していた。							